

# イーストスプリング・ タイ株式オープン

追加型投信／海外／株式

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、主にタイの企業の株式等を投資対象とする投資信託証券に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。当作成対象期間につきましてもこれに沿った運用を行ってまいりました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜われますよう、お願い申し上げます。

作成対象期間 2021年12月11日～2022年6月10日

第18期 2022年6月10日決算

日経新聞掲載名:タイ株

第18期末	基準価額	10,972円
	純資産総額	293百万円
第18期	騰落率	19.1%
	分配金合計	0円

(注)騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

## イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

<https://www.eastspring.co.jp/>

【お問い合わせ先】

電話番号：03-5224-3400

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)

当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順で閲覧、ダウンロードすることができます。なお、書面をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

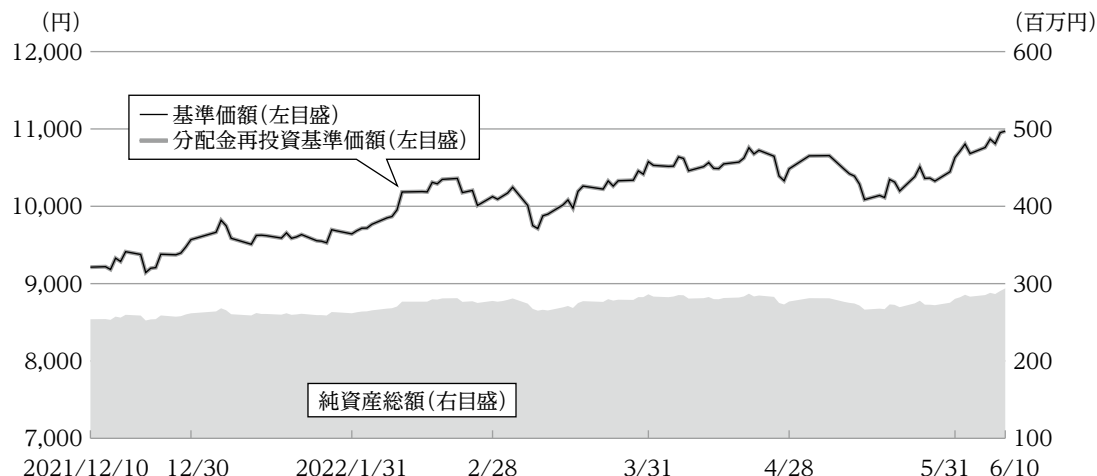
<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

ホームページにアクセス ⇒ 「ファンド情報」を選択 ⇒ ファンド名を選択 ⇒ 「目論見書・月報・運用報告書等」の「運用報告書(全体版)」を選択

## 運用経過

### 基準価額等の推移について

(2021年12月11日～2022年6月10日)



第18期首	9,213円
第18期末	10,972円(既払分配金0円)
騰落率	19.1%(分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

### 基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は上昇しました。

上昇要因

- ・投資対象ファンドを通じて保有する株式が上昇したこと。
- ・対円で通貨パーツが上昇したこと。

# 1万口当たりの費用明細

(2021年12月11日～2022年6月10日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	74円	0.724%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、10,171円です。
(投信会社)	(31)	(0.302)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(42)	(0.411)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	( 1)	(0.011)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	5	0.047	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	( 1)	(0.010)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管 および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	( 3)	(0.032)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷)	( 1)	(0.005)	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
合計	79	0.771	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

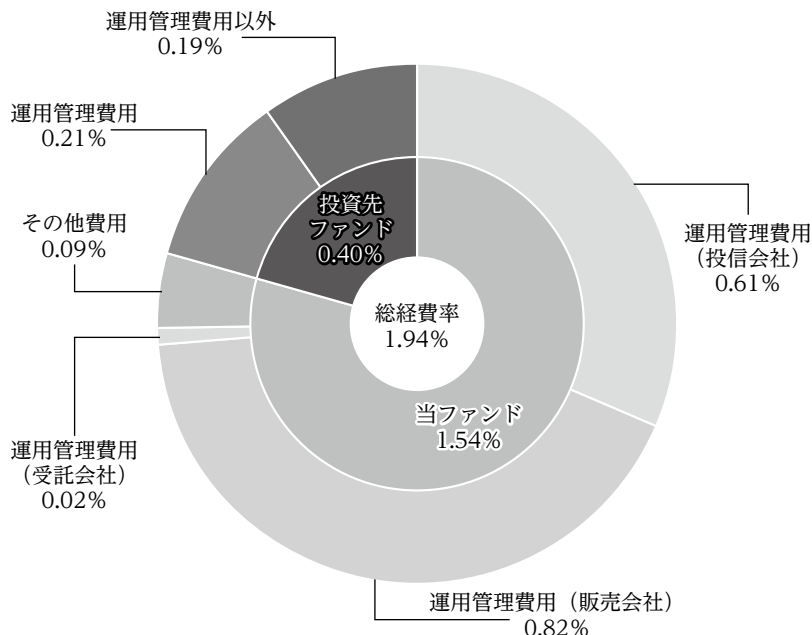
(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## (参考情報)

### ■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.94%です。



総経費率 (①+②+③)	1.94%
①当ファンドの費用の比率	1.54%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.21%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.19%

(注) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

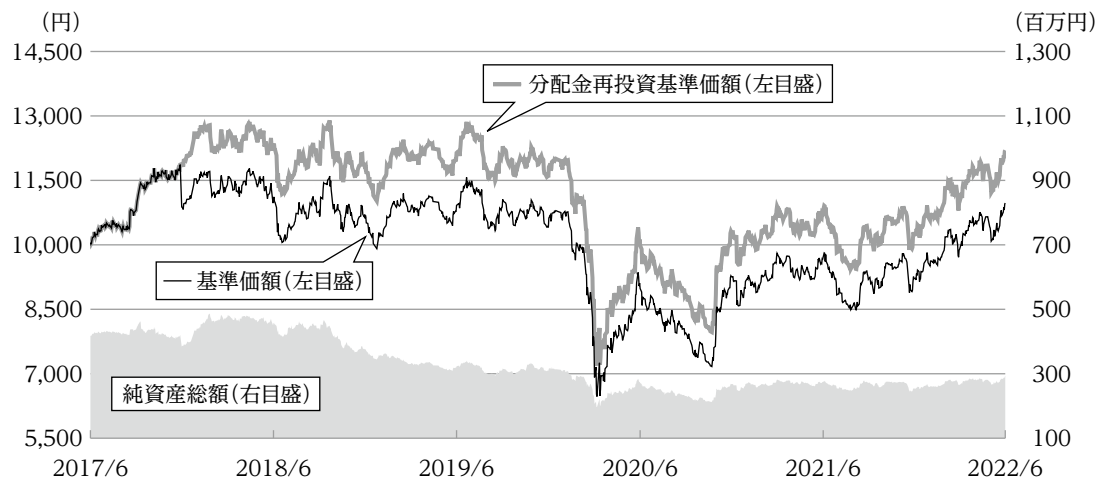
(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移について (2017年6月12日～2022年6月10日)



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、2017年6月12日の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

決算日		2017/6/12	2018/6/11	2019/6/10	2020/6/10	2021/6/10	2022/6/10
基準価額	(円)	10,051	10,971	10,781	9,040	9,679	10,972
期間分配金合計（税引前）	(円)	—	1,200	0	0	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率(%)		—	21.4	-1.7	-16.1	7.1	13.4
純資産総額	(百万円)	417	450	318	273	274	293

\*当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

### タイ株式市場

タイの株式市場は通期で上昇しました。

期初から2022年2月中旬にかけては、新型コロナウイルスのオミクロン株による新規感染者が増加する中、タイ政府がウィズコロナ政策を維持し、経済活動の継続を優先したことから株式市場は上昇しました。その後5月半ばにかけては、ロシアのウクライナ侵攻などを受けてエネルギー価格が高騰し、世界的にインフレが高進する中、米国における金融引締め加速や中国における新型コロナの新規感染者数の増加による経済活動停滞への懸念などから、タイ株式市場は軟調な展開となりました。しかし、期末にかけて中国での感染症対策の制限措置の緩和などを受けてタイ株式市場は反発しました。

### 為替市場

当期、タイバーツは対米ドルで下落する一方、対円では上昇しました。

期初から2022年2月中旬にかけては、新型コロナウイルスのオミクロン株による新規感染者が増加する中、タイ政府がウィズコロナ政策を維持し、経済活動の継続を優先したことからタイバーツは対米ドルで上昇しました。5月半ばにかけては、世界的にインフレが高進する中、米国の金融引締めが加速することなどが懸念されタイバーツは対米ドルで下落基調となりました。その後、タイバーツは一時米ドルに対し反発しましたが、期末にかけては米長期金利の上昇を受けて下落しました。一方、円安米ドル高が進んだことから、円に対してタイバーツは通期で上昇しました。

### 国内債券市場

期初から2022年2月半ばにかけては、エネルギー価格の高騰などを受けて欧米各国でインフレ懸念が高まり、長期金利が大幅に上昇する中、日本国債利回りも上昇（価格は下落）しました。2月下旬にはロシアのウクライナ侵攻を受け、投資家のリスク回避姿勢が強まったことから一時低下しましたが、その後は米国の金融引締め加速への懸念を背景に上昇に転じました。3月中旬から期末にかけては日銀の連続指値オペの実施などを受けて狭いレンジでの推移となりました。

## ポートフォリオについて

### 当ファンド

主要な投資対象の一つであるイーストスプリング・インベストメンツ - タイランド・エクイティ・ファンド クラス] (以下「タイランド・エクイティ」といいます。) への投資比率を高位に保つよう運用しました。

### タイランド・エクイティ

タイ株式を主要投資対象とし、長期的な成長を目指した運用を行いました。個別銘柄調査とバリュエーションを重視し、市場全体およびセクター内で割安に評価されている銘柄を中心に投資を行い、割高となった銘柄の組入れを減らしました。

当期は原油価格の大幅上昇により収益拡大への期待が高まったエネルギー関連企業の PTT Exploration & Production PCL などの保有がプラス要因となりました。一方、新型コロナウイルスの影響などによる売上減少や物流コストの上昇などから下落した、卸売りスーパーを展開する Siam Makro PCL などの保有はマイナス要因となりました。

### イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型 I (適格機関投資家向け)

主としてデュレーションをコントロールすることによって、ベンチマークである ICE BofA 国債インデックス (1-10年債) を中長期的に上回ることを目指して運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳（1万口当たり、税引前）

項目	第18期	
	2021年12月11日 ～2022年6月10日	
当期分配金	(円)	—
(対基準価額比率)	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	2,032

(注1)「当期の収益」と「当期の収益以外」は円未満は切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2)当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3)－印は該当がないことを示しています。

## 今後の運用方針について

### 当ファンド

主要な投資対象の一つであるタイランド・エクイティへの投資比率を高位に保つことを基本とします。

### タイランド・エクイティ

タイ国内の新型コロナの新規感染者数はオミクロン株拡大の影響から2022年4月初めには一時1日当たり5万人を超えていましたが、足元では2～3千人へと大幅に減少しており、政府はウィズコロナ政策を一層推し進める方針を示しています。米国の金融引締め政策やインフレ加速によるタイ国内企業の収益悪化が逆風となり、短期的には不安定な相

場展開が予想されます。しかし、その下げ幅は限定的になると思われ、中国における経済活動再開後はタイ株式市場の上値余地は相対的に大きいと考えています。今後もファンダメンタルズが良好で割安な銘柄への選別投資を行っていく方針です。

### イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型I (適格機関投資家向け)

今後もファンダメンタルズ分析、金利動向予測、イールドカーブ分析等を行いベンチマークであるICE BofA 国債インデックス（1～10年債）を中長期的に上回ることを目指した運用を行っていく所存です。



## お知らせ

○信託期間を約10年延長し、2033年6月10日までとするため、信託約款に所要の変更を行いました。  
(変更日：2022年3月10日)

## 当ファンドの概要

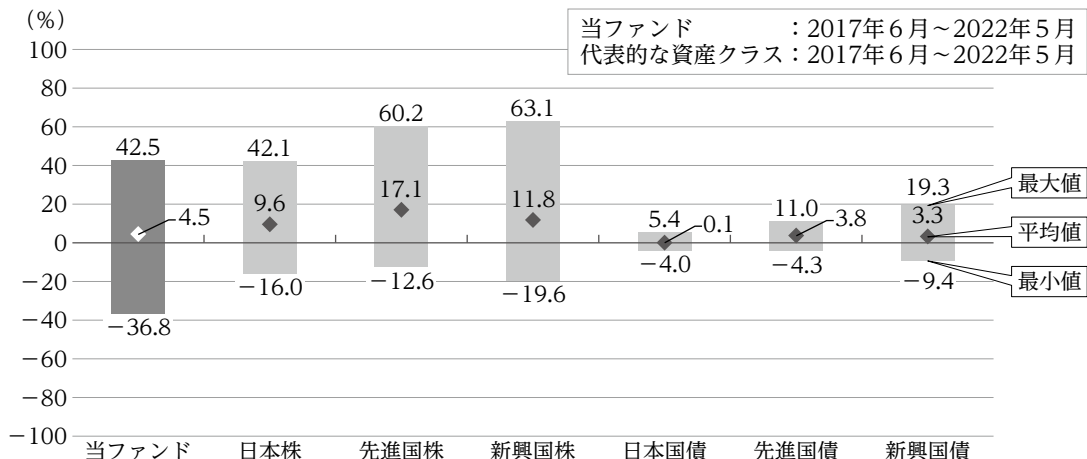
商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2013年6月28日から2033年6月10日まで
運用方針	主にタイの企業の株式等を投資対象とする投資信託証券に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	外国投資法人「イーストスプリング・インベストメンツ - タイランド・エクイティ・ファンド クラス J」の投資証券（米ドル建て）およびわが国の証券投資信託「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型 I（適格機関投資家向け）」の受益証券（振替受益権を含みます。）を主要投資対象とします。
運用方法	以下の投資制限のもと運用を行います。 ・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ・株式への直接投資は行いません。
分配方針	毎決算時（毎年6月10日および12月10日。休業日の場合は翌営業日。）に、基準価額水準および市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。

## 指数に関して

当ファンドの投資対象である「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型 I（適格機関投資家向け）」のベンチマークについて

ICEデータ・サービスおよびその関連会社は、提供するインデックスデータに関してその継続性、正確性、完全性を保証するものではなく、当該データ提供に係り発生し得る損害についてもその事由の如何を問わず責任を負うものではありません。

## (参考情報) 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※当ファンドと代表的な資産クラスについて、上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を表示し、定量的に比較できるように作成したものです。当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

※すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

※当ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

### 各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)	株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社 (以下「J P X」という。) の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など TOPIX に関するすべての権利・ノウハウ及び TOPIX に係る標章又は商標に関するすべての権利は J P X が有します。J P X は、TOPIX の指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円換算ベース)	MSCI Inc. が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は MSCI Inc. に帰属します。また MSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)	
日本国債	NOMURA-BPI 国債	野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。
先進国債	J P モルガン G B I グローバル (除く日本、ヘッジなし・円ベース)	J.P. Morgan Securities LLC が算出、公表しているインデックスであり、著作権、知的財産権は J.P. Morgan Securities LLC に帰属します。
新興国債	J P モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)	

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しています。「円換算ベース」は、米ドルベースの指数を当社が円換算したものです。

## ファンドデータ

### 当ファンドの組入資産の内容

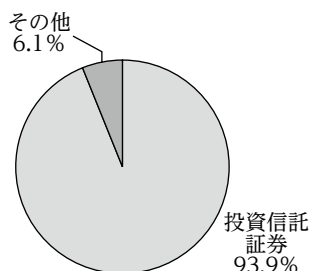
#### 組入ファンド

(組入銘柄数：2銘柄)

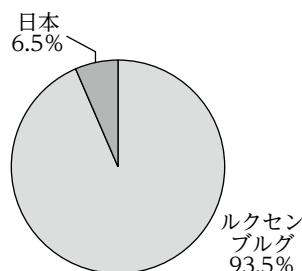
ファンド名	第18期末 2022年6月10日
イーストスプリング・インベストメンツ - タイランド・エクイティ・ファンド クラスJ	93.5%
イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型I(適格機関投資家向け)	0.3%

(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

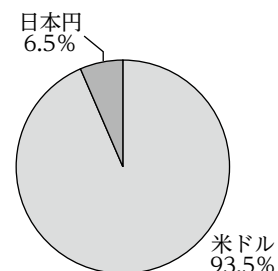
#### 資産別配分



#### 国別配分



#### 通貨別配分



(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

### 純資産等

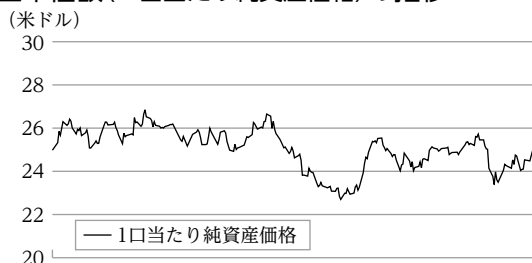
項目	第18期末 2022年6月10日
純資産総額 (円)	293,862,320
受益権総口数 (口)	267,829,770
1万口当たり基準価額 (円)	10,972

\*当期中において追加設定元本額は31,550,018円、一部解約元本額は39,337,309円です。

## 組入上位ファンドの概要

### <イーストスプリング・インベストメンツ - タイランド・エクイティ・ファンド クラスJ>

#### 基準価額(1口当たり純資産価格)の推移



2020/12/31

2021/12/31

#### 1万口当たりの費用明細

(2021年1月1日～2021年12月31日)

当該期間のAnnual Report (監査済み)には、1万口当たりの費用明細が開示されていないため、記載できません。

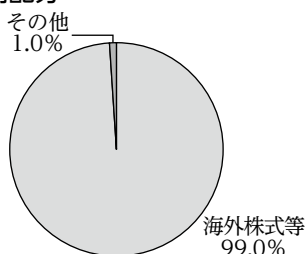
以下は、イーストスプリング・インベストメンツ - タイランド・エクイティ・ファンドの内容です。

#### 組入上位10銘柄(組入銘柄数：53銘柄)

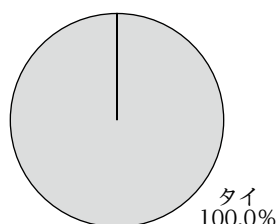
(2021年12月31日現在)

銘柄名	業種	国・地域	比率
PTT PCL (Foreign Market)	エネルギー	タイ	9.8%
Airports of Thailand PCL (Foreign Market)	運輸	タイ	7.1%
Advanced Info Service PCL (Foreign Market)	電気通信サービス	タイ	6.0%
CP ALL PCL (Foreign Market)	食品・生活必需品小売り	タイ	5.5%
Siam Commercial Bank PCL/The (Foreign Market)	銀行	タイ	4.0%
Gulf Energy Development PCL (Foreign Market)	公益事業	タイ	3.9%
Siam Cement PCL/The NVDR	素材	タイ	3.9%
PTT Exploration & Production PCL (Foreign Market)	エネルギー	タイ	3.8%
Kasikornbank PCL (Foreign Market)	銀行	タイ	3.6%
Bangkok Bank PCL (Foreign Market)	銀行	タイ	3.1%

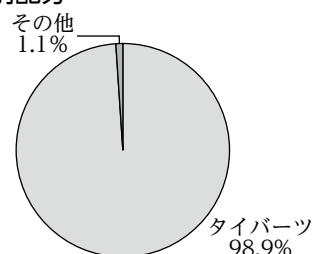
#### 資産別配分



#### 国別配分



#### 通貨別配分



(注1) 組入ファンドのデータは、当社で入手可能な時点のもの(監査済みおよび同時点の関連データを含む)を使用しています。

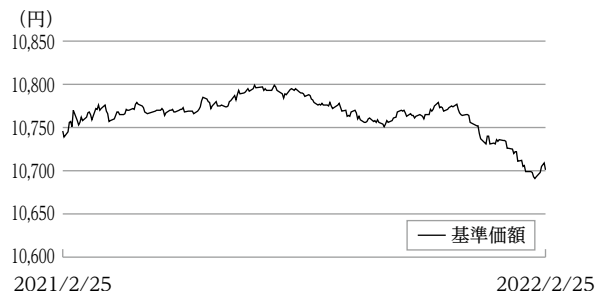
(注2) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

## 組入上位ファンドの概要

### <イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型 I（適格機関投資家向け）>

#### 基準価額の推移



#### 1万口当たりの費用明細

(2021年2月26日～2022年2月25日)

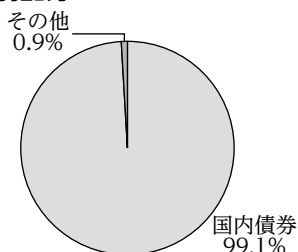
項目	金額	比率
(a) 信託報酬	24円	0.220%
（投信会社）	(15)	(0.143)
（販売会社）	( 2)	(0.022)
（受託会社）	( 6)	(0.055)
(b) その他費用	2	0.014
（監査費用）	( 2)	(0.014)
合計	26	0.234

#### 組入上位10銘柄（組入銘柄数：12銘柄）

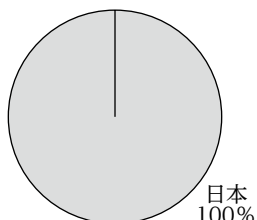
（2022年2月25日現在）

銘柄名	種別	利率	償還日	国・地域	比率
第91回利付国債（20年）	国債	2.3%	2026/9/20	日本	21.7%
第359回利付国債（10年）	国債	0.1%	2030/6/20	日本	13.1%
第87回利付国債（20年）	国債	2.2%	2026/3/20	日本	8.7%
第354回利付国債（10年）	国債	0.1%	2029/3/20	日本	8.6%
第63回利付国債（20年）	国債	1.8%	2023/6/20	日本	7.5%
第351回利付国債（10年）	国債	0.1%	2028/6/20	日本	7.3%
第321回利付国債（10年）	国債	1.0%	2022/3/20	日本	7.3%
第67回利付国債（20年）	国債	1.9%	2024/3/20	日本	6.8%
第80回利付国債（20年）	国債	2.1%	2025/6/20	日本	5.9%
第117回利付国債（20年）	国債	2.1%	2030/3/20	日本	4.6%

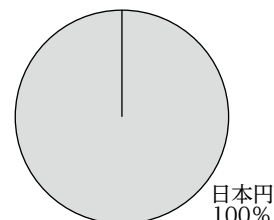
#### 資産別配分



#### 国別配分



#### 通貨別配分



（注1）1万口当たりの費用明細の項目の概要および注記については、2ページの「1万口当たりの費用明細」の記載をご参照ください。

（注2）組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産総額に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。